

しながわの区税だより 第67号

令和7年1月1日 品川区税務課 発行 TEL 03(3777)1111 (代表) 広町2-1-36

区の歳入の4分の1を占める住民税 ―― どのように使われているかご存じですか？

品川区の歳出を1,000円にたとえると・・・

●民生費 512 円

保育園運営、高齢者福祉
障害者福祉など

●総務費 122 円

文化観光、スポーツ
生活安全など

●衛生費 78 円

ごみ収集、予防接種など

●土木費 139 円

道路・公園、まちづくりや防災など

●教育費 116 円

学校教育、図書館の運営など

●産業経済費 21 円

地域産業活性化など

●その他 12 円

公債費、議会費や予備費など

広報しながわ 令和6年3月11日号より

住民税は納期限内に納めましょう！

1月31日(金) は普通徴収第4期の納期限です。

事情により納期限内の納付が難しい場合は、ご相談ください。

問い合わせ 税務課納税相談担当 TEL 03(5742)6671~3 FAX 03(3777)1292

ふるさと納税（寄附）による税収減の現状

区外から品川区に寄附してくださる方よりも、品川区在住でほかの市区町村へ寄附する方が圧倒的に多く、ふるさと納税による品川区の住民税の流出額は年々増加し、今年度は **50億円** を超えました。本来は、国から流出額の75%が地方交付税として補填されますが、品川区を含む東京23区は地方交付税(補填)が受けられておらず、純粋な税収減となります。この状況が続くと、**財源不足** となり、**行政サービスの低下** につながりかねません。

こうした中、区では魅力発信の観点から、地元企業と連携したふるさと納税返礼品の拡充に取り組んでいます。

令和6年度(第58回)中学生の「税についての作文」

～優秀作品のご紹介～

全国納税貯蓄組合連合会、国税庁主催の「中学生の『税についての作文』」の優秀作品選考があり、入賞作品が決定しました。今号では、優秀作品のうち、品川区長賞を受賞されました2作品をご紹介します。

品川区長賞

「税との向き合い方」

品川区立富士見台中学校 九学年 草野 心音

僕は、『税』という言葉聞いて、あまりピンと来ることがなかった。中学生の僕たちの身近な所では、『消費税』しか思い付かない。大人達に課される税は様々あると思うのだが、僕にはあまり分からなかった。そこで、税について興味を持ち、調べてみることにした。

税には、色々な種類があることが分かった。例えば、『所得税』や『住民税』、『固定資産税』などだ。僕は、これらは本当に必要な物であるのか疑問に思った。そして、次に税の使われ方について調べてみた。

身近な所でいえば、学校で使用する『教科書』。これは、未来を担う僕たちに期待を込めて無償で提供されている。他にも、道路の設備にも税が使われているし、町の安全を守ってくれる、『消防』や『警察』の活動にも税が使われているようだ。知らないだけで、これも税で賄われているんだと気付くものがたくさんあった。

僕は、サッカーをやっている。サッカーには怪我がつきものだ。昨年、『第五中足骨疲労骨折』という大きな怪我を負った。プレーしながら直していくという選択肢もあったが、今後の事も考えて、『手術』するという選択肢をとった。手術には、多くの費用がかかる。その費用の一部はスポーツ保険で補償されると聞いたが、僕は自己負担分も大きくなるだろうと考えていた。でも、結果的に、税金が医療費を負担してくれて、自己負担分は大きく軽減された。つまり、僕たちは、税によって支えられ、税によって豊かで安全な生活を過ごせていたのだ。世の中には、『税金を減らせ』『税金は無駄だ』といった声も多く聞かれる。しかし、それは税の使われ方を知らないだけで、税は人々を世の中を支えていることに間違いのないのだ。

大人になるにつれ、税の負担が大きくなり、不満ばかりが募って税の恩恵を感じることが少なくなるかもしれない。そんな時は、今一度、税の使われ方について考えてみるのはどうだろうか。普段の生活の中で、税が使われている所は山ほどある。税は僕たちの生活を豊かに、安心させてくれているということを改めて知れば、税に対する考え方も変わるかもしれない。税に対していいイメージを持ってないことは少なからずあるだろう。でも、税は僕たちの生活の『当たり前』となっていることを実は大きく支えてくれているのだということが分かれば、その考えも変わるのかもしれないのだ。

貴方の税は、どこかで豊潤な社会を作るのに役立てられている。そのことを忘れずに、これからも税と向き合って過ごすことが大事なことなのだと思う。

【品川税務署管内】

～品川間税会 令和6年度「税の標語」品川区長賞のご紹介～

「税金で 創れる未来 その笑顔」
品川区立第四日野小学校 六学年 村山 吾望

<敬称略>

品川区長賞

「『税』と書いて『未来』」

品川区立荏原平塚学園 九学年 廣升 芽生

「税金が高くて大変だ」そのような言葉をニュースの街頭インタビューでたくさん聞いてきました。皆さんは税金と聞いてどのような印象と考えているのでしょうか。

私は最近まで税金に対して何となく良くない印象を抱いていました。それはこの世の中の人々が全体的に税に関して負の印象を持っているからです。何故そのような負の印象を持っているのか、それは税金を積極的に払っているのではなく「義務」だから仕方がなく払わされていると考えている人が多く、その本質を理解していないからだと思います。私はこのことを考え、インターネットで皆さんが納める税金は実際に何のために使われているのかを調べてみました。そうすると出てきたのは生きていく中で大切な医療機関、車に乗るのに欠かせない道路の整備、水道の整備、警察や消防、市町村のゴミの処理、そして私の通う学校、教材、先生を始めとする公務員の人達の給料など、沢山のことに使われているということに驚きました。また、災害大国の我が国では必要不可欠である災害に強い街づくりや、復興費にも税金が使われています。災害でいえば東日本大震災の際、大きな揺れにより、多くの建物が壊れたり、地面が割れたり、水道やガス、電気が止まってしまいました。そんな時に使われたのも皆さんが納めた復興費です。このように、税金は私たちが生活する上で無くてはならない存在であり、それと同時に日常に税金が溶け込んでいることで知らないうちに税金によって行われている事を無料のサービスであると勘違いしてしまい、税金による恩恵を当然のように感じてしまう人が多いのだと思います。もし、税金がなくなってしまったら私たちの生活はどうなってしまうのでしょうか。物価が安くなって、暮らしが豊かになるのではないかと、ですがそんなに甘いことではなく、逆に生活が大変になってしまいます。具合がもし悪くなってしまったら税金があれば無料で救急車が来てくれて病院へ運んでくれますが、税金がない場合、お金を払わなくては病院へ運んでくれません。また、自宅に泥棒が入ったとしても警察組織がなければ犯人逮捕には至りません。道路は整備されないためボロボロに、役所も公務員がいないので使えなくなり、ガスや水道も止まり、インフラが全て使えなくなってしまいます。税金が無ければ、当たり前利用している公共サービスも無くなってしまいます。そう思うと税金の重要さを身にしみ感じる事ができました。

今まで、税に対して周りの情報に流され、負の感情を抱いていましたが税を一人一人が納めていることにより、この日常を支えていてそれは当たり前ではないことを知りました。私は今十五歳、後何年もすれば税を納めます。その時が来たら今まで受けていた税金の恩恵を返すように、感謝の気持ちをもって納め、未来の社会へ繋げていきたいと思っています。

【荏原税務署管内】

他の入賞作品受賞者をご紹介します

【品川税務署管内】

☆東京国税局管内納税貯蓄組合連合会会長賞 大崎中学校 藤島 快斗	☆品川納税貯蓄組合連合会会長賞 立教英国学院中学部
☆東京納税貯蓄組合総連合会会長賞 大崎中学校 笠井 諒俊 富士見台中学校 湯原 彩貴	匿名希望 東海中学校 伊藤 彩恵 伊藤学園 岩室 友紀菜 品川学園 加藤 沙菜 日野学園 坂本 美心華 浜川中学校 鈴木 颯介 八潮学園 長嶺 アバカル ガイ
☆品川税務署長賞 品川学園 鈴木 万葉 鈴ヶ森中学校 西田 明日香	鈴木 心美 富士見台中学校 平野 咲希 大崎中学校 吉岡 水花
☆品川区教育長賞 日野学園 中井 環	
☆東京税理士会品川支部長賞 浜川中学校 染谷 凌央子	

【荏原税務署管内】

☆東京都知事賞 豊葉の杜学園 馬淵 拓己	☆荏原納税貯蓄組合連合会会長賞 荏原第一中学校 岩崎 心音 荏原第一中学校 市川 千穂 荏原第五中学校 柏村 心雪 荏原第五中学校 宇佐美 絢理 荏原第六中学校 藤村 妃奈美 戸越台中学校 原田 花 戸越台中学校 館脇 光太郎 荏原平塚学園 岡 怜奈 荏原平塚学園 北園 実来 豊葉の杜学園 森 紗良
☆荏原税務署長賞 荏原第五中学校 二之宮 友理 荏原第六中学校 白井 咲羽	
☆品川都税事務所長賞 荏原第六中学校 吉田 彩葉	
☆品川区教育長賞 荏原平塚学園 二瓶 仁華	
☆東京税理士会荏原支部長賞 荏原平塚学園 山本 唯乃	

